

声

業界の

● 社団法人 山梨県トラック協会

専務理事 杉浦 正氏

業界の現況は？

当業界では、最近の燃料価格の高騰が大きな問題となっています。軽油価格の上昇は、すぐに企業の死活問題へと発展していきます。平成20年に起きた燃料価格の高騰がやっと落ち着きを取り戻した矢先の出来事、どの企業も再び苦しい経営を強いられています。

もちろん、運賃に燃料サーチャージ制を導入できればいいのですが、顧客維持のためにはそれもできない状況です。その要因としては、平成2年の規制緩和によりトラック業界への新規参入企業が増え、業界内での競争が激化していること、景気悪化により、荷主との運賃交渉も厳しくなっていること等が挙げられます。

今後の展開は？

今後は、できる限り会員の方々の経営の一助となる活動を行っていきたくと考えています。その一つとして力を入れているのは、「WebKIT」です。これは、輸送効率向上と環境負荷軽減を図る手段として、また「帰り荷の確保」、「融通配車」、「積合せ輸送」など新たなビジネスチャンスを掴むための求荷求車情報ネットワークです。この「WebKIT」を活用し、会員の方々がより効率的な運行ができるように支援していきたくと考えています。

その他にも、「運賃の適正化」、「適正な運行を可能とするための制度改善」、「軽油取引税等の税制改正」等にも力を入れていきたくと考えています。

海や空港がない当県において、トラック業界もまた、社会生活のライフラインを支えています。当県では、物流の9割をトラックが支えています。この重要な役割を持つ当業界の更なる発展のため、今後も様々な活動を行っていきたく考えています。

